



国際口腔医療ネットワーク
International Oral Medical Network

第61回例会

2016.11.27(日) 13:30~15:30(終了後、懇親会)

対象／医療関係者 参加料／3,000円(研修医/学生1,000円 懇親会費含む)

※当日受付にてお支払いください。(受付にて領収書を発行致します)

IOMは大森・東京歯科口腔外科、理事長新保悟を中心として、口腔医療に携わる全ての人達で作るスタディグループです。オープンな勉強会ですので、どなたでも気軽にご参加いただけます。どうぞ、お知り合いの先生もお誘い合わせの上、奮ってご参加ください。※テーマは毎月変わります。

1部 永田鈴佳 先生
池田歯科医院 DH



2部 磯川律子 先生
白鳥歯科インプラントセンター DH



※抄録は裏面

糖尿病患者の歯周治療、チームアプローチにおける歯科衛生士の役割について

糖尿病患者において歯科衛生士が担うべき歯周組織と糖尿病の管理について、実際の症例を供覧しながら

インプラント治療のメンテナンス入門編

今後もっと増加が予想されるインプラント患者さんを安全にサポートしていくために知識の整理を

会場

Luz大森 4F 入新井集会室
東京都大田区大森北1-10-14

お申し込み

(お問合わせ)

IOM事務局／大森・東京歯科口腔外科
担当：安田
TEL／FAX／E-mailで承ります。
●TEL:03-5767-7505
●FAX:03-5767-7508
●E-mail: soushinkai.yasuda@gmail.com
●HP: http://iom-dental.net/



Facebook

当スタディグループのページ有り。【IOM】でご検索下さい。
Facebook上でも同イベントの申込を受けつけております。

第61回に参加 / 不参加

次回以降の案内 希望 / 希望しない

懇親会 同会場にて
1時間程度で立食

貴院/貴技工所/貴社名

ご参加者名

E-mail

ご住所 〒

TEL ()

FAX ()

1部 永田 鈴佳

1995年 静岡県立厚生保育専門学校 歯科衛生学科卒業(現静岡県立大学短期大学部歯科衛生学科)

1995~2011年 一般開業医 勤務

2011年~ 池田歯科医院 勤務

2009年 日本臨床歯周病学会認定歯科衛生士

2009年 日本口腔インプラント学会専門歯科衛生士

2015年 日本歯周病学会認定歯科衛生士

第58回春季日本歯周病学会学術大会ベストハイジニスト賞受賞

【糖尿病患者の歯周治療、チームアプローチにおける歯科衛生士の役割について】

現在、我が国における糖尿病患者は316万人であり、糖尿病が強く疑われる人は950万人、糖尿病予備軍は1100万人で成人の5~6人に1人は糖尿病または予備軍であるということが報告されています。また成人の8割以上が歯周病で、歯周病は糖尿病の第6の合併症であり、相互に関連している為、双方からのアプローチが有効であると言われています。歯周病と糖尿病の類似点としては、共に生活習慣病であり初期症状としては自覚症状がないことが挙げられます。糖尿病患者は健常者と比較すると歯周病の有病率や発症リスクが高くなります。また近年では歯周治療を行うことでHbA1cが改善する可能性があると言われています。

食べることは一生のことであり、最後まで自分の口から食べられることは人生の目標でもあります。私たち歯科衛生士はその目標の手助けをすることができる職種です。そのためには、**歯科衛生士も全身疾患についての知識を習得し、医療連携を取りながら口腔内だけでなく全身状態の把握・管理を行っていくことが求められます。**歯周病も糖尿病もセルフコントロールでの管理が必要な疾患であり、**患者さん自身のモチベーションの維持・向上が重要**です。

今回、糖尿病患者において歯科衛生士が担うべき歯周組織と糖尿病の管理について、実際の症例を供覧しながらお伝えしていきます。

2部 磯川 律子

1986年 静岡県立厚生保育専門学校 歯科衛生学科 卒業

1986年 植田歯科医院

1997年 白鳥歯科医院

2003年 白鳥歯科インプラントセンター

2005年 歯周病学会認定歯科衛生士

2008年 インプラン学会専門歯科衛生士

【インプラント治療のメンテナンス入門編】

インプラント治療は、欠損治療の選択肢の1つとして周知が進み、現在日本で200万人以上が治療を受けていると言われています。高齢社会を迎えた今、健康寿命を延伸させ、豊かな人生を支えるためには、食べたいものをおいしく食べられるお口を持ち、全身と口腔の疾患予防のために適切な口腔ケアを行い、コミュニケーションなど社会性を維持していただくことが重要だと言われています。噛める歯を求めて、今後もっと増加が予想される**インプラント患者さんを安全にサポートしていくために知識の整理をしていきたい**と思っています。

知識の整理ですが、

1 インプラントと天然歯の違い

2 インプラント周囲粘膜の診査法

3 インプラントのクリーニング

4 インプラント周囲粘膜炎、周囲炎の対処法

5 長期的メンテナンスを続けていくための患者さんとのコミュニケーションとチームアプローチ

以上5点を予定しています。